

付1. 初期治療として使用される主な治療

[抗がん薬治療（化学療法）]

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
AC療法（エーシー療法）					3週毎に4回	骨髄抑制，吐き気・嘔吐，脱毛，口内炎，血管炎，心機能障害，色素沈着	
ドキシソピシン	アドリアシン	60 mg/m ²	点滴（5～30分）	1日目			
シクロホスファミド	エンドキサン	600 mg/m ²	点滴（60分）	1日目			
EC療法（イーシー療法）					3週毎に4回	骨髄抑制，吐き気・嘔吐，脱毛，口内炎，血管炎，心機能障害，色素沈着	
エピルピシン	ファルモルピシン	90 mg/m ²	点滴（5～30分）	1日目			
シクロホスファミド	エンドキサン	600 mg/m ²	点滴（60分）	1日目			
3週毎ドセタキセル					3週毎に4回	骨髄抑制，吐き気，脱毛，口内炎，皮膚症状，爪の変化，アレルギー反応，浮腫	
ドセタキセル	タキソテール	75 mg/m ²	点滴（60分）	1日目			
毎週パクリタキセル					1週毎に12回	骨髄抑制，吐き気，脱毛，口内炎，神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等），アレルギー反応	
パクリタキセル	タキソール	80～100 mg/m ²	点滴（60分）	1日目			
Dose Dense-AC療法（ドーズデンス エーシー療法）					2週毎に4回	骨髄抑制，吐き気・嘔吐，脱毛，口内炎，血管炎，心機能障害 ペグフィルグラスチム：骨痛	
ドキシソピシン	アドリアシン	60 mg/m ²	点滴（5～30分）	1日目			
シクロホスファミド	エンドキサン	600 mg/m ²	点滴（60分）	1日目			
ペグフィルグラスチム	ジーラスタ	3.6 mg	皮下注射	2日目			
Dose Dense-PTX療法（ドーズデンス パクリタキセル療法）					2週毎に4回	骨髄抑制，吐き気，脱毛，口内炎，神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等），アレルギー反応 ペグフィルグラスチム：骨痛	
パクリタキセル	タキソール	175 mg/m ²	点滴（180分）	1日目			
ペグフィルグラスチム	ジーラスタ	3.6 mg	皮下注射	2日目			
TC療法（ティーシー療法）					3週毎に4回または6回	骨髄抑制，吐き気・嘔吐，脱毛，口内炎，皮膚症状，爪の変化，アレルギー反応，浮腫	
ドセタキセル	タキソテール	75 mg/m ²	点滴（60分）	1日目			
シクロホスファミド	エンドキサン	600 mg/m ²	点滴（60分）	1日目			
クラシカルCMF療法（クラシカルシーエムエフ療法）					4週毎に6回	骨髄抑制，吐き気・嘔吐，口内炎，下痢，色素沈着	
シクロホスファミド	エンドキサン錠	100 mg/m ²	1日1回 内服	1～14 日間服用 14 日間休薬			
メトトレキサート	メソトレキセート	40 mg/m ²	点滴（15～30分）	1日目，8日目			
フルオロウラシル	5-FU	500 mg/m ²	点滴（15～30分）	1日目，8日目			

【抗がん薬治療（化学療法）：HER2陰性の場合に使用される治療】

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
カペシタビン内服							
カペシタビン	ゼローダ	1回 1,500～2,400 mg	1日2回 朝夕食後内服	1～14 日間服用 7 日間休薬	3週1サイクルで 6～8 サイクル	皮膚症状（手足症候群・色素沈着）、口内炎、下痢、吐き気、骨髄抑制、味覚異常	術前化学療法で病理学的完全奏効（pCR）が得られなかった場合に使用

【抗HER2療法：HER2陽性の場合に使用される治療】

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
トラスツズマブ（毎週投与方法）							
トラスツズマブ	ハーセプチン	2 mg/kg (初回 4 mg/kg)	点滴（30分） (初回90分)	1日目	1週毎に1年間	インフュージョンリアクション、心機能障害	抗がん薬（タキサン系）と併用し、その後、抗HER2療法のみを継続
トラスツズマブ（3週毎投与方法）							
トラスツズマブ	ハーセプチン	6 mg/kg (初回 8 mg/kg)	点滴（30分） (初回90分)	1日目	3週毎に1年間	インフュージョンリアクション、心機能障害	
トラスツズマブ+ペルツズマブ							
トラスツズマブ	ハーセプチン	6 mg/kg (初回 8 mg/kg)	点滴（30分） (初回90分)	1日目	3週毎に1年間	インフュージョンリアクション、心機能障害、下痢	抗がん薬（タキサン系±カルボプラチン）と併用し、その後、抗HER2療法のみを継続
ペルツズマブ	パージェタ	420 mg (初回 840 mg)	点滴（30分） (初回60分)	1日目			
トラスツズマブ エムタンシン（術後）							
トラスツズマブ エムタンシン	カドサイラ	3.6 mg/kg	点滴（30分） (初回90分)	1日目	3週毎に14回	インフュージョンリアクション、心機能障害、肝機能障害、血小板減少	術前化学療法+抗HER2療法で病理学的完全奏効（pCR）が得られなかった場合に使用

【ホルモン療法：ホルモン受容体陽性の場合に使用される治療】

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
LH-RHアゴニスト（下記のいずれかを使用）							
ゴセレリン	ゾラデックス	3.6 mg/10.8 mg	皮下注射	1日目 4週/12週 毎		注射部位反応、ほてり・発汗・のぼせ（ホットフラッシュ）、頭痛、不眠、脂質代謝異常、骨密度低下	閉経前 タモキシフェンやアロマターゼ阻害薬と併用する
リュープロレリン	リュープリン	3.75 mg/11.25 mg /22.5 mg	皮下注射	1日目 4週/12週 /24週毎			
選択的エストロゲン受容体モジュレーター（下記のいずれかを使用）							
タモキシフェン	ノルバデックス	1回 20 mg	1日1回 内服	毎日	5～10年	ほてり・発汗・のぼせ（ホットフラッシュ）、月経異常、血栓症、子宮内膜がん（閉経後）、関節痛	
トレミフェン	フェアストン	1回 40 mg	1日1回 内服	毎日			
アロマターゼ阻害薬（下記のいずれかを使用）							
アナストロゾール	アリミデックス	1回 1 mg	1日1回 内服	毎日	5～10年	ほてり・発汗・のぼせ（ホットフラッシュ）、関節痛、骨密度低下、脂質代謝異常、肝機能異常	
レトロゾール	フェマーラ	1回 2.5 mg	1日1回 内服	毎日			
エキセメスタン	アロマシン	1回 25 mg	1日1回 内服	毎日			

[ホルモン受容体陽性HER2陰性の場合に使用される術後治療]

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
S-1+ホルモン療法					6週1サイクルで 1年間	骨髄抑制, 皮膚症状(手足症候群・色素沈着), 口内炎, 下痢, 吐き気, 味覚異常	再発中～高リスクの場合, ホルモン療法を併用して1年間服用
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤	ティーエスワン	1回 40～60 mg	1日2回 朝夕食後 内服	1～28日間服用 14日間休薬			
アベマシクリブ+ホルモン療法					2年間	下痢, 肝機能障害, 骨髄抑制, 間質性肺炎	再発高リスクの場合, ホルモン療法を併用して2年間服用
アベマシクリブ	ページニオ	1回 150 mg	1日2回 内服	毎日			

[トリプルネガティブの場合に使用される治療]

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
免疫チェックポイント阻害薬					3週間毎に 術前8回 術後最大9回	免疫関連有害事象(間質性肺疾患, 大腸炎, 甲状腺機能低下症, 肝障害, 皮疹, 下垂体炎, 糖尿病, 腎機能障害, 末梢神経障害, 重症筋無力症など)	術前/術後化学療法と併用後, 単剤で使用
ペムプロリズマブ	キイトルーダ	1回 200 mg	点滴(30分)	1日目			

[再発高リスク, BRCA病的バリエントを有する場合に使用される治療]

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
PARP阻害薬					1年間	骨髄抑制, 吐き気, 間質性肺炎	ホルモン受容体陽性の場合, ホルモン療法を併用
オラパリブ	リムパーザ	1回 300 mg	1日2回 内服	毎日			

患者さんごとに算出した体表面積を乗じた量を使用する場合は「mg/m²」、患者さんの体重を乗じた量を使用する場合は「mg/kg」、からだの大きさに関係なく量が決まっている場合は「mg」と表記しています。